



志和堀自治協議会だより

皆様方からの声をお待ちしております ☎・Fax 433-2891
e-mail: shiwahorijichikyo@camel.megaegg.ne.jp

平成30年4月1日発行
志和堀小学校区
住民自治協議会
総務部会 広報部

志和堀 555世帯/1,181人
増減 △12 △13

母校・志和堀小学校の今後について



昭和39年当時 人文字

高垣 新市長さんが就任されて2ヶ月が経過しようとしています。志和堀区民の皆さん! 昨年の12月には、

- ① 平成34年4月を目標に志和堀と西志和の2校で、まず先行して志和中学校敷地内に施設一体型の施設を整え、教育活動を行える様にしていく。
- ② 平成31年4月に志和堀小学校を西志和小学校へ統合し、暫定的に過小規模の解消(複式学級改善など)を行う
- ③ 市教育委員会は、統合基本方針に基づき、引き続き東志和小学校区民への丁寧な説明に努めるとともに、平成34年4月にオール志和で一貫校が開校できるように説得に努める。

との合意書が三地区と市及び教育委員会とで締結されました。東地区のその後の現状は、前回の地域住民へのアンケートから1年以上が経過し、保護者の意見など状況変化も見られる事から、今一度地域住民全員へのアンケートを実施され、2月中旬には集計を完了されたやに伺っています。

詳細な内容については存じていませんが、約1,100人の内7割の方が統合に賛成であったらしいとの事です。残り3割の内2割の方は複式になったら統合に移行するという意向だそうです。いずれにしても、東区民の方に対しては、温かい目で見えてあげたいと思います。

現在東広島市では、志和地区を対象にした『地域おこし協力隊員』を募集中です。(市ホームページ参照)地域の活性化、街づくりの観点からも、今後の小学校跡地の活用などについて、よりよい知恵と工夫を発揮して頂きたいと願っています。区民の皆さん方のご協力をどうぞ宜しくお願いします。

会長 平賀 興三郎

志和堀地区自治会困りごとアンケート結果報告

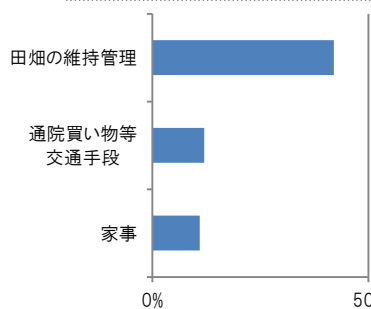
平成29年11月に志和堀地区の住民皆様を対象に高齢化対策の一助とするためにアンケート調査をいたしました。357名(回収率77%)の多くの方からご回答頂きました。ご協力有難うございました。

志和堀地区の人口は1,181人で、その内65歳以上の方は507人で高齢化率は42.9%となり、老人の占める割合が非常に高い地域となっています。

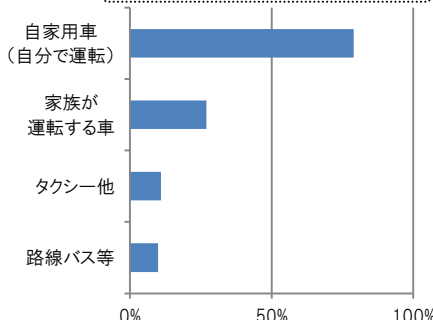
今後ますます高齢化がすすむ中で、少しでも住民皆様の日常生活における困りごとを解消し、安心して暮らせる地域をつくるために、この度のアンケートを参考にさせていただき、市への協力を得て協議していきたいと思います。西志和・東志和地区とともに同時にアンケート調査しており今後の方向をとりまとめ中です。

その方向がまとまれば皆様に報告させていただきます。下記に志和堀地区のアンケート調査の結果を一部抜粋して報告致します。

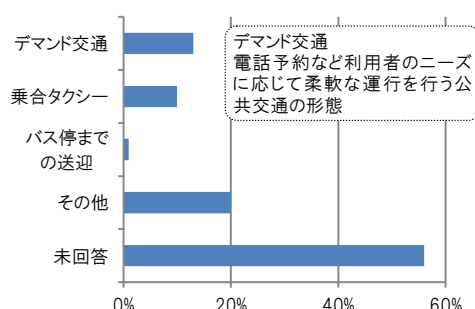
日常生活の中で、自分一人では大変だと思うことを順番に3位まで



外出の交通手段で、よく利用する車は何ですか



交通手段について、どんなものがあれば利用したいと思いますか



デマンド交通
電話予約など利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通の形態

広島市から宮ノ前に参りました

竹内 幸一郎 です



7年間杉坂で農耕に従事し、念願の移住が実現しました。皆様にお世話になりながら1日も早く地域に溶け込んで参りたいと考えております。一緒に移住の姉共々よろしくお願ひ申し上げます。

移住・定住プロジェクトチームからのお願い

新規就農したい若者たちや、田舎ぐらしを希望される熟年の方々に、我が志和堀に移住・定住してもらい、地域のみなさまと互いに手を携え「志和堀磨き」をしたいとの想いから、地道に活動を続けるなかで、1年間で1~2名(家族)の方々が移住されています。

しかし、深刻な悩みがあり、貸していただける空き家が少ないことです。そこで、皆さんにお願いです！

空き家のこと、これからどうするんね



志和堀を離れておられる空き家の所有者に、墓参りなど折を見て声掛けをしてみてください。

う〜ん 貸してもいいけど う〜ん 荷物や仏壇があるけんね〜 悩んどるんよ〜

このような情報があればお寄せ下さい。お願いします。

平成30年度自治会長紹介

長	松	田 辺 雅 春
堀	市	佐 々 木 紘
新 市 下		上 島 寿 彦
新 市 上		石 川 康 洋
新 城 今 田		中 島 武 史
杉 坂 下		小 川 恵 子
杉 坂 上		石 井 勝 代
谷 政		宮 下 裕 之
横 田		祖 羅 千 代 子
安田十日市		若 野 房 枝
原		古 谷 信 明
免 山		金 子 健 太
宮 ノ 前		松 川 邦 彦
後 休		上 野 辰 夫

編集後記

異常気象による寒い冬も終わり、早いもので今年もホタルまつりの季節となりました。

平成31年4月からは、志和堀小学校も廃校となり西志和小学校と一時的に統合し、志和堀区民としては非常に寂しい気持ちでいっぱいです。

これにより志和堀小学校としてのホタルまつりは、今年で最後と思われま。

志和堀区民の皆様の温かいご協力をよろしくお願ひします。

地域サロンの活動紹介 ⑤

安田十日市ハートサロン

我が地域では

- ・ 楽しく和やかな食事会／月1回
- ・ 日帰り旅行&お買いものツアー／社協バスを利用して年4回を目標に実施
- ・ 絵手紙教室／第1・4火曜日・第2・4木曜日(月4回)
- ・ 楽しく描こう「まんが教室」／地域の小学生や園児と一緒に、第2・4土曜日(月2回)に開催

老若共に健やか健康を目的に励ましの絆を目指し、関係者一同頑張っています。



志和堀の史跡めぐり ⑬ 『後休胡堂』



祭 神:えびす大神・産土神
 御利益:豊作・商売繁盛・開運
 創 建:慶長3年(1598)3月18日
 祭 事:元旦・大宮神社例大祭日
 縁 日:春・夏・誓文祭

集落の民が交替で催事を執り行ない、牛玉宝印(御神福札)の護符の配布を大宮八幡神社より奉許される。

殿島神社創建の頃、大宮八幡神社では子生城山に、神輿御渡し神事の「頓宮」・「除層社」や御幣使の御休み所を建立する。(「後休」の地名の謂れとなる。御休⇒後休)

室町幕府終焉の頃、神社仏閣などの整理統廃合が行なわれ、大宮八幡神社の境内社や除層社も対象になり、廃止にかかる境内社および東側横馬場にあった祠堂「えびす」を、後休集落の守護神とする旨を、願ひ出て「後休胡堂」として、現在地に遷堂しました。

大正4年(1915)大宮八幡神社客殿移転に伴い、後休胡堂の大神を分霊し「新市胡社」を勧請する。昭和17年(1942)火災に遭うも、篤志家により再建を果たしました。

昭和42年(1967)土地改良工事時、志芳の産土神が祀られていた「砂脇照堂」(建長8年(1256)3月12日建立・石塚あり)を後休胡堂に合祀しました。

行 事 予 定

(4月~6月)

- 4月 6日(金) 志和堀小・入学式
- 4月 9日(月) 志和中・入学式
- 4月 15日(日) はなマルシェin照栄寺
- 5月 11日(金) 志和堀自治協議会・総会
- 6月 2日(土) ホタルまつり
- 6月 3日(日) 市民スポーツ大会